

問1 入り組んだ海岸線が特徴で、津波が押し寄せた際に波が集中し、被害が拡大しやすい地形を何という？

1. リアス海岸 2. 砂浜海岸 3. 扇状地 4. 三角州

問2 北から流れる親潮と南から流れる黒潮がぶつかり、多くの魚が集まる豊かな漁場となる海域を何という？

1. 還流 2. 潮目 3. 湧昇流 4. 離岸流

問3 湾の入り口が狭いリアス海岸において、地震の際に湾内で高くなりやすく警戒が必要な自然現象を何という？

1. 土石流 2. 津波 3. 液状化 4. 高潮

問4 自然災害の被害範囲や避難場所などを地図上に示したものを何という？

1. 地域防災計画 2. 防災訓練 3. 避難計画 4. ハザードマップ

問5 日本アルプスを構成する3つの山脈のうち、飛騨山脈の別の呼び名を何という？

1. 中央アルプス 2. 南アルプス 3. 丹沢山地 4. 北アルプス

問6 長野県から流れ出る天竜川の河口付近にある、三角州の代表例として知られる静岡県の市を何という？

1. 浜松市 2. 岡山市 3. 徳島市 4. 新潟市

問7 夏に親潮の影響で沿岸に発生し、北海道の太平洋側で農作物の冷害の原因となる霧を何という？

1. 寒冷前線 2. 熱帯低気圧 3. 海霧 4. 梅雨前線

問8 沿岸部に津波が到達することを防ぐために築かれる、海からの波を食い止める壁状の構造物を何という？

1. 砂防ダム 2. 防潮堤 3. 水門 4. 防波堤

問9 河川の氾濫が発生した場合に、浸水が予測される区域のことを何という？

1. 土砂災害警戒区域 2. 避難勧告地域 3. 火災延焼防止区域 4. 浸水想定区域

問10 日本アルプスの山々が遮ることで、日本海側に大雪を降らせ、地域による気候の差を生み出す風を何という？

1. 海陸風 2. 季節風 3. フェーン 4. 貿易風

問11 フィリピン沖から日本列島の南岸に沿って北上する、流れが速い海流を何という？

1. 寒流 2. 千島海流 3. 暖流 4. リマン海流

問12 扇状地の扇端部分において、地下水が湧き出し、昔から人々が生活の拠点としてきた場所を何という？

1. 都市 2. 港湾 3. 集落 4. 観光地

問13 地球の表面を覆い、互いに押し合ったり沈み込んだりすることで地震の原因となる岩盤のことを何という？

1. 褶曲 2. プレート 3. 海溝 4. 断層

問14 親潮のような寒流と、黒潮のような暖流がぶつかる海域のことを何という？

1. 大陸棚 2. 海溝 3. 堆積平野 4. 潮目

問15 千島列島方面から南下する、水温が低い海流を何という？

1. 北赤道海流 2. 寒流 3. 対馬海流 4. 暖流

問16 地表を流れる水が地下に浸透しやすく、水はけのよい扇状地の土地を利用して作られる、農業形態を何という？

1. 畑 2. 果樹園 3. 茶畑 4. 水田

答え合わせ・解説

問1	答え 1 リアス海岸	海岸線が複雑に入り組んでおり、細長い湾が奥深くまで入り込んでいるのが特徴です。津波がこの狭い湾内に入ると、地形的な特性から波が狭い場所に押し込められ、波高が急激に上昇する「津波増幅現象」が起こります。そのため、同じ津波でも、外洋に面した平坦な海岸よりも、リアス海岸の奥地の方が深刻な被害を受ける傾向があります。
問2	答え 2 潮目	この2つの海流がぶつかり合う境界線の海域を潮目（しおめ）と呼びます。異なる海流が混ざり合うことで、プランクトンが大量に発生し、それを餌とする魚類が豊富に集まるため、世界でも有数の良好な漁場として知られています。
問3	答え 2 津波	津波は海面全体が押し上げられる現象であり、通常の風による波とは異なり、到達すると非常に高い破壊力を持って陸地に押し寄せます。リアス海岸のような湾の入り口が狭い地形では、入り口でせき止められた波が湾内で急激に高くなる性質があり、特に甚大な被害が出る恐れがあります。
問4	答え 4 ハザードマップ	ハザードマップは、自然災害が発生した際に被害が想定される範囲や、避難場所、避難経路などを地図上に示したものです。各自治体が過去の災害実績や地形データをもとに作成しており、インターネットや広報を通じて住民に提供されています。自分の住んでいる地域のリスクを把握し、災害への備えを高めるための重要な資料です。
問5	答え 4 北アルプス	日本アルプスは、北部の「飛騨山脈（北アルプス）」、中部の「木曾山脈（中央アルプス）」、南部の「赤石山脈（南アルプス）」という3つの山脈で構成されています。それぞれ3000メートル級の高峰が連なり、日本を代表する山岳景観を形成しています。
問6	答え 1 浜松市	天竜川が運んできた土砂が、河口付近で堆積して形成された三角州が浜松市周辺には広がっています。三角州は平坦で水が得やすいため、古くから稲作を中心とした農業の適地として利用されてきました。
問7	答え 3 海霧	冷たい海の上で冷やされた空気が霧となり、沿岸へ流れ込む現象を海霧と呼びます。この霧が長時間かかると、日照不足を引き起こし、北海道の太平洋側の農作物の成長を妨げ、冷害の原因となることがあります。
問8	答え 2 防潮堤	防潮堤は、海からの浸水を防ぐための壁状の構造物です。津波の勢いを弱め、到達する時間を遅らせる効果を期待して設置されます。近年では、より高い津波にも耐えられるよう、二重構造にしたり、防潮林と組み合わせたりする工夫も行われています。
問9	答え 4 浸水想定区域	浸水想定区域は、河川が氾濫した場合に、どれくらいの深さまで水が浸かる可能性があるかをシミュレーションして示した範囲です。ハザードマップには、浸水深（水がどれくらいの深さになるか）や浸水が継続する時間などが記載されています。この区域を知ることによって、大雨の際の避難行動を早める判断に役立てることができます。
問10	答え 2 季節風	冬になると、大陸から吹いてくる寒く湿った季節風が日本アルプスの山々にぶつかり、日本海側で雪となって降り注ぎます。一方で、山を越えた太平洋側には乾燥した風が吹き込むため、冬の天候が非常に大きく異なります。
問11	答え 3 暖流	黒潮は非常に勢いが強く、暖かい水を運ぶ暖流の代表です。この暖流は、日本列島の南側に沿って北上しながら、周辺の気候や生態系に大きな影響を与えています。水温が高いため、多くの魚が回遊し、豊かな海を作り出しています。
問12	答え 3 集落	この「扇端」と呼ばれる地点は、古くから水を得やすく、集落が形成される中心地となってきました。水利条件が良いことから、生活だけでなく稲作などの農業にも適した場所として、地域の発展の核となりました。
問13	答え 2 プレート	プレート同士がぶつかったり、一方の下へ沈み込んだりする境界部分では、大きな力が発生します。日本列島はこのプレートの境界が複雑に重なる場所にあり、沈み込むプレートに引きずられたり、跳ね返ったりする力が地震の主な原因となっています。この動きによって地殻のひずみが溜まり、活断層が形成されることもあります。
問14	答え 4 潮目	この境界部分を潮目と呼びます。潮目では、北からの栄養分を豊富に含んだ水と、南からの暖かい水が混ざり合い、プランクトンが爆発的に発生します。これを求めて多くの魚が集まるため、非常に豊かな漁場が形成されます。
問15	答え 2 寒流	親潮のように、高緯度から低緯度へ向かって流れる海流を寒流と呼びます。寒流は水温が低いだけでなく、酸素や栄養分が豊富に含まれているため、プランクトンが大量に発生し、魚が集まる豊かな漁場を作り出す特徴があります。
問16	答え 2 果樹園	この特性を利用して、日本では古くから傾斜地や扇状地で果樹栽培が盛んです。果物の中でも特に水はけの良い土壌を好む品種が、扇状地で質の高い収穫を上げています。